

## 中間連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	194,435	187,977
固定資産	152,517	145,664
<b>① 資産合計</b>	<b>346,953</b>	<b>333,642</b>
流動負債	70,144	75,918
固定負債	25,104	24,739
<b>② 負債合計</b>	<b>95,249</b>	<b>100,657</b>
<b>③ 純資産合計</b>	<b>251,703</b>	<b>232,984</b>
負債純資産合計	346,953	333,642

### 中間連結損益計算書及び 中間連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間
<b>④ 売上高</b>	<b>158,476</b>	<b>131,735</b>
売上総利益	41,169	27,821
販売費及び 一般管理費	27,482	24,631
<b>⑤ 営業利益</b>	<b>13,687</b>	<b>3,190</b>
経常利益	14,266	4,299
税金等調整前 中間純利益	14,550	4,328
<b>⑥ 親会社株主に帰属する 中間純利益</b>	<b>10,814</b>	<b>1,966</b>
中間包括利益	21,654	10,280

#### ■ ポイント！

##### ① 資産合計

「現金及び預金」や「流動資産その他」の減少などがありましたが、「棚卸資産」や「有形固定資産」の増加などにより、総資産は133億10百万円増加しました。

##### ② 負債合計

「支払手形及び買掛金」や「流動負債その他」の減少などにより、負債は54億8百万円減少しました。

##### ③ 純資産合計

円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などにより、純資産は187億19百万円増加しました。

##### ④ 売上高

半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられ大幅に回復したことに加え、米国においてシール・ラベル用粘着製品の販売数量が増加したことなどにより、売上高は267億40百万円増加しました。

##### ⑤ 営業利益

原燃料価格の高止まり影響があったものの、半導体・電子部品関連製品や他の製品についても販売数量が増加し、生産設備の稼働率が大きく改善したことなどにより、営業利益は104億97百万円増加しました。

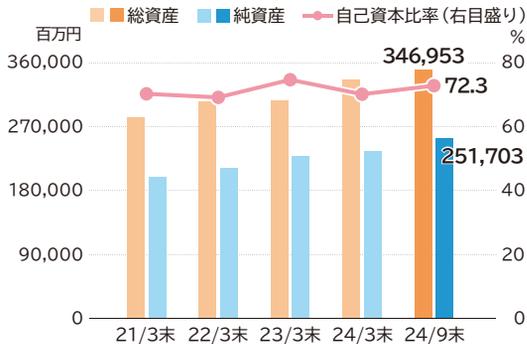
##### ⑥ 親会社株主に帰属する 中間純利益

営業利益が増加したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は88億47百万円増加しました。

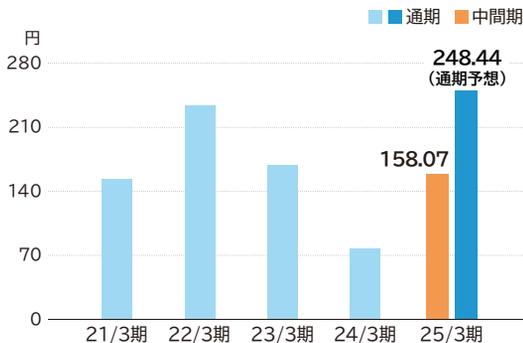
## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	11,932	16,957
投資活動による キャッシュ・フロー	△11,759	△14,159
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,564	2,997
現金及び現金同等物の 中間期末残高	49,178	42,141

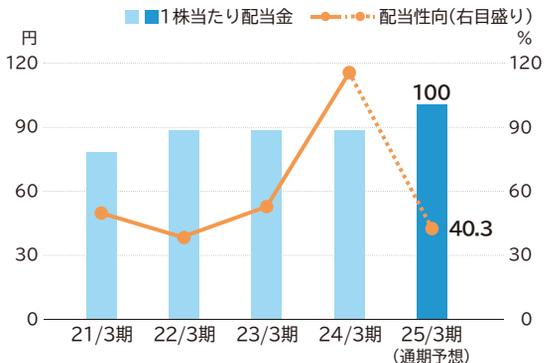
## 総資産・純資産・自己資本比率



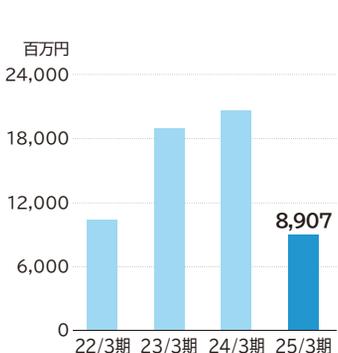
## 1株当たり中間(当期)純利益



## 1株当たり配当金・配当性向



## 設備投資額



## 減価償却費 のれん償却額



## 研究開発費

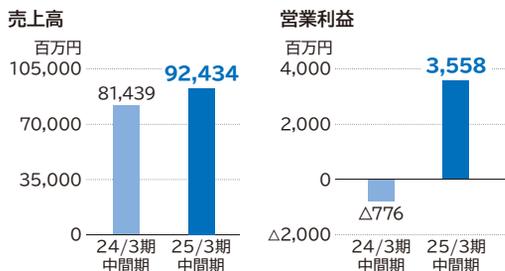


# セグメント情報 2025年3月期中間連結会計期間

## 印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

売上高 **924億34**百万円 (13.5%増)

営業利益 **35億58**百万円 (-)



## 印刷・情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **735億41**百万円 (14.8%増)

### 主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



## 産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **188億93**百万円 (8.8%増)

### 主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では物流・通販向けが堅調に推移したものの、物価高騰の影響により食品関連を中心に需要が減少したほか、アイキャッチラベルや飲料キャンペーン用など総じて低調に推移しました。海外では米国で買収効果により販売数量が大幅に増加し、中国、アセアン地域でも堅調に推移しました。
- 産業工材事業部門は国内では自動車用ウィンドーフィルムが自動車生産台数減少の影響を受けて低調に推移しました。海外では米国で建物用ウィンドーフィルムが増加したほか、インドで自動車用粘着製品が増加しました。
- セグメント営業利益は米国での販売数量の大幅な増加もあり、前年同期に比べ増加しました。

## 電子・光学関連 (前年同期比)

売上高 **481億46**百万円 (42.9%増)

営業利益 **94億85**百万円 (120.3%増)

売上高



営業利益

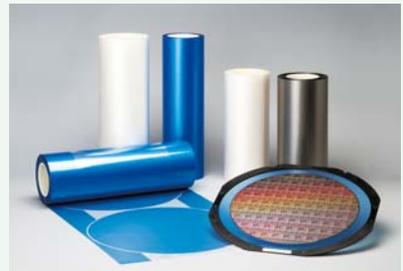


## アドバンスマテリアルズ事業部門 (前年同期比)

売上高 **416億55**百万円 (55.9%増)

### 主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



## オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **64億91**百万円 (6.9%減)

### 主要製品

- 光学ディスプレイ関連粘着製品



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンスマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープがスマートフォン用などの需要増加により好調に推移しました。また、半導体関連装置についてもHBM製造用で大幅に増加しました。積層セラミックコンデンサ関連テープはスマートフォンやデータセンター向けなどの需要増加により大きく伸ばしました。
- オプティカル材事業部門は光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビ用やスマートフォン向けで受注が減少しました。
- セグメント営業利益は半導体・電子部品関連製品の販売数量が増加したことにより、前年同期に比べ増加しました。

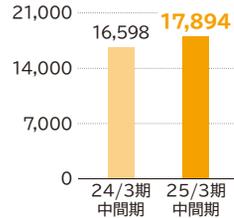
## 洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **178億94**百万円 (7.8%増)

営業利益 **6億15**百万円 (-)

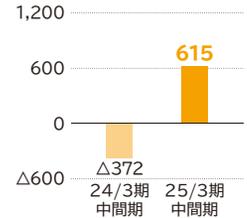
売上高

百万円



営業利益

百万円



## 洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **75億84**百万円 (3.9%減)

### 主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



## 加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **103億10**百万円 (18.5%増)

### 主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門は耐油耐水紙が前年同期並みだったものの、主力のカラー封筒用紙や色画用紙、建材用紙が需要減少により低調に推移しました。
- 加工材事業部門は電子材料用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムがスマートフォン用などの需要増加により好調に推移したほか、合成皮革用工程紙や炭素繊維複合材料用工程紙も大幅に増加しました。
- セグメント営業利益は加工材事業部門の販売数量増加などにより、前年同期に比べ増加しました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

# 株式情報 (2024年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,427,731株
単元株式数	100株
株主数	8,229人

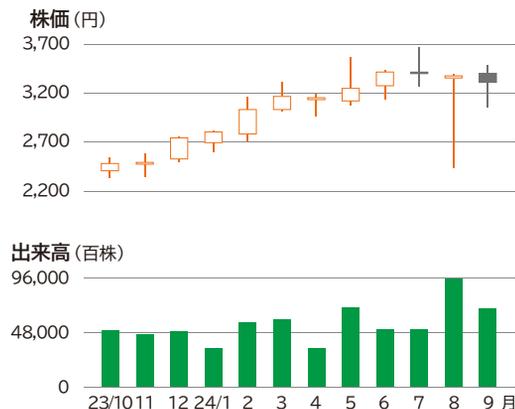
## 大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	20,553	30.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,802	9.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,623	8.21
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,800	4.09
庄司 たみ江	1,796	2.62
リンテック従業員持株会	1,205	1.76
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,061	1.55
塩飽 恵以子	1,043	1.52
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	820	1.19
塩飽 一誉子	803	1.17

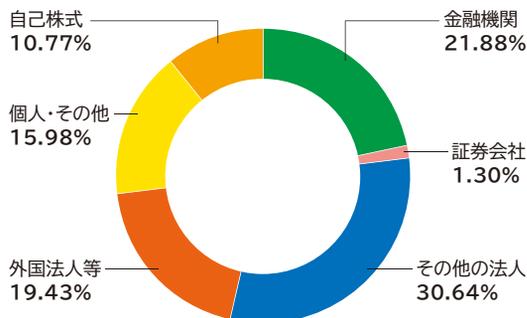
注1. 当社は自己株式8,261,009株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

## 株価および出来高の推移 (2023年10月~2024年9月)



## 所有者別分布比率



## IRメール配信サービスのお知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

[www.lintec.co.jp/ir/ir\\_mail](http://www.lintec.co.jp/ir/ir_mail)

## 会社概要 (2024年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,476人 単体: 2,618人 (2024年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社 (2024年3月31日現在)

## 株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	<a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou">www.tr.mufg.jp/daikou</a>
住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の電子提供制度開始に伴う書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	<a href="http://www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html">www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html</a>



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23  
URL [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

発行 広報・IR室 2024年12月  
TEL. (03) 5248-7741  
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンクージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。